

4 年次 SSH 設定科目【コズモプロジェクトⅣ：2 単位】

科目のねらい

MYPの探究的な取組の集大成として、より創造的・発展的な取組として、横断的・総合的な見方・考え方をはたらかせ、課題研究に取組むことで、自己の在り方生き方を考えながらよりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。また、グループでの活動を通じ、集団をまとめプロジェクトをより効率的に推進させ、目的を達成させるサイエンスリーダーに必要なスキルを育成することを目指す。

4 年次前期「Personal Project」における目標および評価基準

MYP 評価観点	
A 計画	i. プロジェクトの学習目標を述べ、その目標が個人的な興味からどのように導きだされたかを説明する
	ii. 意図した成果物について述べ、その成果物に対して適切な成功規準を設定する
	iii. 成果物を実現するための明確で詳細な計画および、それに関連する成功規準を提示する
B スキルの応用	i. 学習目標を達成するうえで、ATL スキルがどのように応用されたかを説明する
	ii. 成果物を実現するうえで、ATL スキルがどのように応用されたかを説明する
C 振り返り	i. プロジェクトが自分自身また自分の学習に及ぼした影響を説明する
	ii. 成功規準に基づき、成果物を評価する

※ねらい・目標の記述は、IBO 発行の「『パーソナルプロジェクト』指導の手引き」に基づいています。

4 年次後期「プレコズモサイエンス」における目標および評価基準

評価観点	
A 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
B 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
C 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	<p>「Personal Project」</p> <p>以下の内容を、担当教員との面談を通して達成する。</p> <p>①計画段階 ②スキルの応用段階 ③振り返り段階</p> <p>・生徒は、このプロジェクトを通して、意図した成果物を示さなければならない。</p>	<p>MYP の集大成として、ATL や各教科の概念を活用し、自らの興味関心に沿ったプロジェクトを実施し、自己評価を行う。【観点A, B, C】</p>
後期	<p>「プレコズモサイエンス」</p> <p>生徒は 12 分野に分かれ、3 年生・4 年次生合同のグループによる探究活動を行う。</p> <p>①「探究・計画」: テーマおよび仮説を設定し、各グループで研究計画書を作成する。</p> <p>②「行動・処理」: 実験・調査を行い、データを集め適切に処理する。</p> <p>③「振り返り」: 集めたデータを考察し、社会や実生活とのつながりを踏まえて、ポスターを作成する。</p> <p>・生徒は、プロセスジャーナルを作成し、適切に探究活動を記録しなければならない。</p> <p>・課題研究の成果を報告・発表する機会を紹介し、外部発表への準備についても指導する。</p>	<p>探究活動の成果として、ポスターを作成し、充実期内および学校内、場合によっては外部に発表することで、自己評価・相互評価を行う。【形成的評価としての観点A, B, C】</p>